

三重県議会議員（鈴鹿市選出）
しもの こうすけ
下野幸助（37歳）

- ①総務地域連携常任委員会 副委員長
- ②予算決算常任委員会 委員
- ③四日市港管理組合議会 議員
- ④三重県環境審議会 委員



しもの幸助 県政レポート

発行：三重県議会議員しもの幸助事務所 〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1 TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

5月25日
第4回スペシャル
オリオンヒ
ックス日本SONN知的障害者
スポーツ（三重夏季地区大会）
設立10周年記念大会



7月1日 鈴鹿の山開き式・あまご放流（小岐須町）

7月4日 鈴鹿の海開き式（千代崎海岸）

7月7日 鈴鹿市交通安全都市推進協議会総会

7月23日 鈴鹿亀山道路建設促進期成同盟会総会に出席し、県議会（鈴鹿市）を代表して挨拶

三重県議会で本年度「しもの幸助」が 担当する主な業務

■三重県議会 常任委員会

①総務地域連携常任委員会 副委員長

県の仕事のやり方を検討したり、税金のことなどに関する仕事やリニア中央新幹線を推進して県全体を元気にする、また県南部地域を熊野古道世界遺産登録10周年などを契機に元気にするための仕事を行っています。2021年みえ国体の推進をはじめ、スポーツを盛んにする仕事も行っています。

②予算決算常任委員会 委員

県の仕事に必要なお金の使い方を計画したり、予算をどのように使ったかを調べたりする仕事。議長を除く三重県議会議員全員が委員となっています。



総務地域連携常任委員会

③四日市港管理組合議会 議員

四日市港管理組合には、条例や予算を議決する機関として四日市港管理組合議会が置かれ、組合議会は、四日市港管理組合のいろいろな事業を進めていく上で、重要な事柄を議論し、決定しています。管理者をはじめとする執行機関は、組合議会の決定を受けて、いろいろな事業を実施することになります。

四日市港管理組合議会は、9名の議員（三重県議会から5名と四日市市議会から4名）で構成されています。

定例会は、毎年4回（通常3月、7月、10月、12月）に開かれます。臨時会は、必要なときに開かれます。

④三重県環境審議会 委員

三重県の環境保全に関する基本的事項の調査審議等を行います。



四日市港管理組合議会第1回定例会

三重県の少子化対策（平成26年度最重要課題）

みえ
出逢いたい
産みたい
育てたい
スイッチ

結婚や出産・子育ての 希望がかなう三重

「子ども・思春期」、「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」のライフステージごとに、働き方も含め、「地方目線」、「当事者目線」で、県民の希望が叶えられるよう、きめ細かな支援を行います。

切れ目のない支援

子ども・思春期	結婚	妊娠・出産	子育て
小学生からの発達段階に応じたライフプラン教育 ・ライフプラン教育総合推進事業 ・思春期ライフプラン教育事業 ・思春期ライフプラン教育啓発事業	出逢い・結婚支援 ・みえの出逢い支援事業 ・少子化対策市町創意工夫支援交付金	安心して出産できる環境づくり ・NICU等長期入院児在宅移行支援事業 ・少子化対策周産期医療支援事業 ・不妊相談・治療支援事業 ・産後ケア事業など	安心して子育てできる環境づくり ・低年齢児保育充実事業補助 ・病児・病後児保育施設整備事業補助 ・保育士・保育所支援センター事業など
働き方の改善（就労支援や就労環境の改善）			
・仕事と家庭が両立できる職場づくり支援事業（地域人づくり事業） ・子育て女性の再チャレンジ促進事業（地域人づくり事業） ・就職を勝ち取る若者人材育成事業（地域人づくり事業） ・地域活性化プラン推進事業（次世代育成を図る農村コミュニティ活動創出事業） ・マタニティ・ハラスメントのない職場づくり事業など			

少子化対策予算総額87.3億円

（平成26年度当初予算+H25年度2月補正予算）

政策的経費伸率：88.2%増！

県の財政を一般家庭に置き換えてみると…



■収入

（単位：万円）

	平成14年度	平成24年度	備考
給料	309	254	県税収入、使用料、諸収入など
親からの仕送り	337	320	地方交付税、国庫補助金、臨時財政対策債など
貯金取崩し	24	30	基金の取り崩し
ローン	84	96	地方債（臨時財政対策債は除く）
計（※1）	754	700	54万円の減少

（※1）10年間の収入推移 754万円⇒700万円（▲54万円）

■支出

（単位：万円）

	平成14年度	平成24年度	備考
生活費（※2）	627	571	56万円の減少
ローン返済	102	107	公債費
計	729	678	

（※2）10年間の生活費推移 627万円⇒571万円（▲56万円）

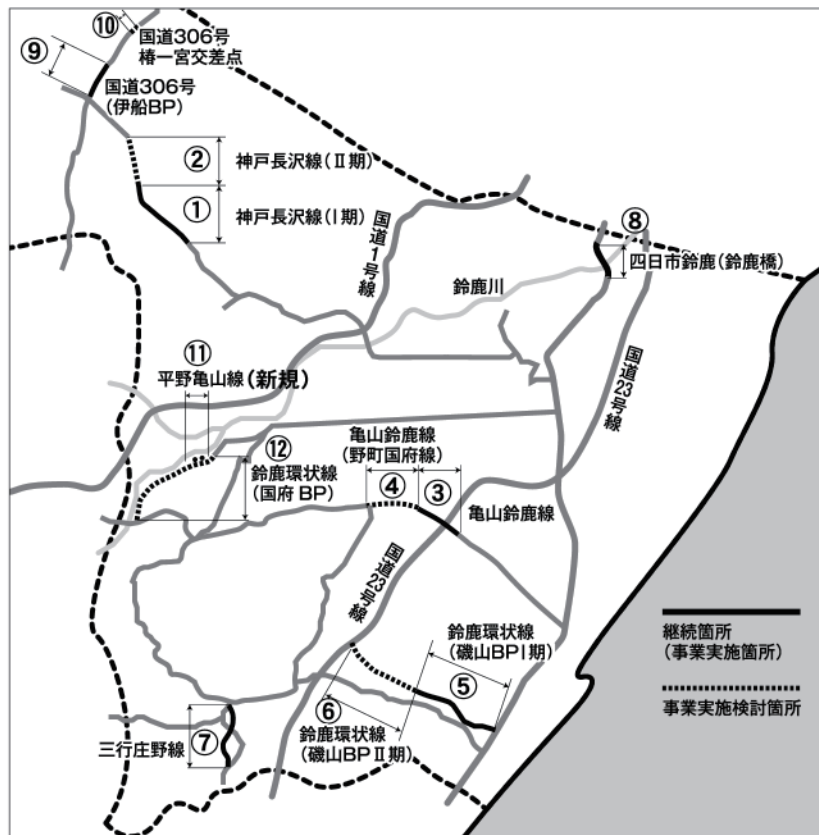
■生活費の主な内訳

- 福祉の向上に 63万円⇒100万円（+37万円）
- 犯罪・交通事故防止に 41万円⇒37万円（▲4万円）
- 道路・住宅・公園などの整備に 126万円⇒94万円（▲32万円）
- 農林水産業の発展に 61万円⇒37万円（▲24万円）
- 教育・文化に 186万円⇒172万円（▲14万円）

県の財政を一般家庭に置き換えてみた場合

- 平成14年度から10年後の平成24年度にかけて、
（※1）収入の面では総額54万円の減少（7%のマイナス）
（※2）支出の面ではローンの返済が高水準で推移しているため、生活費を切り詰めざるを得ない状況（56万円の減少）となっている。
- 借金（ローン残高）の総額は10年間で約1.5倍になっている。

1 平成26年度鈴鹿市内の主な道路事業計画 (三重県鈴鹿建設事務所)



道路事業計画は、道路整備方針に基づく、各地域における今後の県管理道路の整備の方向を具体化するために策定されています。この「道路事業計画」は、県民のニーズや社会情勢を的確に反映するため、3年間の事業計画を策定し、毎年度、更新されています。左図は、三重県鈴鹿建設事務所管内(鈴鹿市内)の主要な道路の事業計画および事業実施検討箇所をご紹介します。

■事業実施箇所

路線名	事業箇所	事業延長	H26予算額(公表)(単位:千円)
① 神戸長沢線(Ⅰ期)	三畑町~伊船町	1.1km	228,167
③ 亀山鈴鹿線	道伯町~野町	1.0km	90,000
⑤ 鈴鹿環状線(磯山BPⅠ期)	五祝町~磯山町	1.8km	50,000
⑦ 三行庄野線	徳居町	1.4km	93,341
⑧ 四日市鈴鹿線(鈴鹿橋)	高岡町~一ノ宮町	0.9km	207,425 (H25予算から継続)
⑨ 国道306号(伊船BP)	伊船町~長澤町	0.7km	103,712
⑪ 平野亀山線(新規)	平野町	0.4km	250,000

■事業実施検討箇所

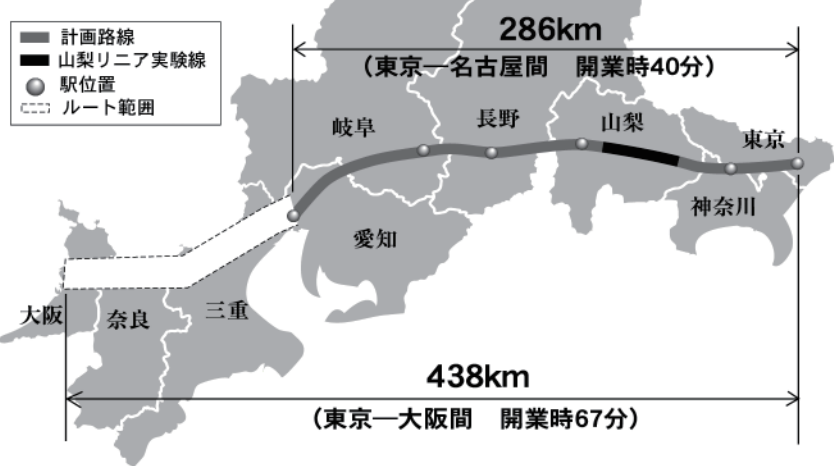
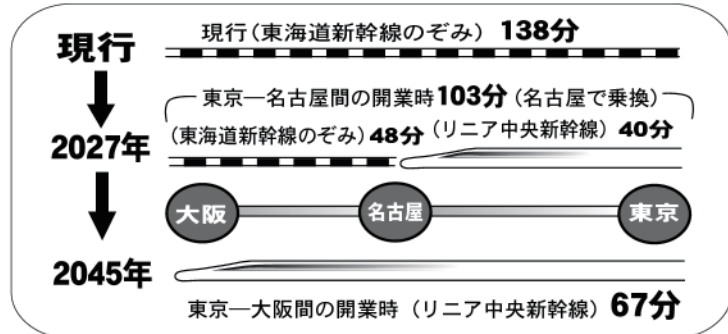
路線名	事業箇所	事業延長	H26予算額(公表)(単位:千円)
② 神戸長沢線(Ⅱ期)	伊船町~長澤町	1.3km	上記①の内数
④ 亀山鈴鹿線	道伯町	0.8km	-
⑥ 鈴鹿環状線(磯山BPⅡ期)	徳田町~五祝町	1.7km	上記⑤の内数
⑩ 国道306号樺一宮交差点	山本町~樺一宮町	0.2km	9,000
⑫ 鈴鹿環状線(国府BP)	平野町~国府町	2.2km	10,000



2 リニア中央新幹線の早期実現に向けて

リニア中央新幹線は、東海道新幹線との二重化による災害に強い国土の形成や、ゆとりのある生活の実現に大きく貢献するとともに、沿線地域間の交流・連携を一層活発にし、沿線地域のみならず日本を元気にしていく原動力となる、極めて重要な社会基盤です。JR東海の計画では2027年に名古屋まで開業し、それから18年後の2045年に大阪までの全線を開業するとしています。三重県の発展に重要な役割を担うリニア中央新幹線は、東京・大阪間の全線が整備されて初めて、その効果が遺憾なく発揮されるものであり、県および県議会では関係市町等で構成する「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」の活動を中心に、東京・大阪間の全線同時開業、県内の概略ルートや駅の概略位置の早期公表を、国やJR東海等に働きかけています。

■東京-大阪間の所要時間



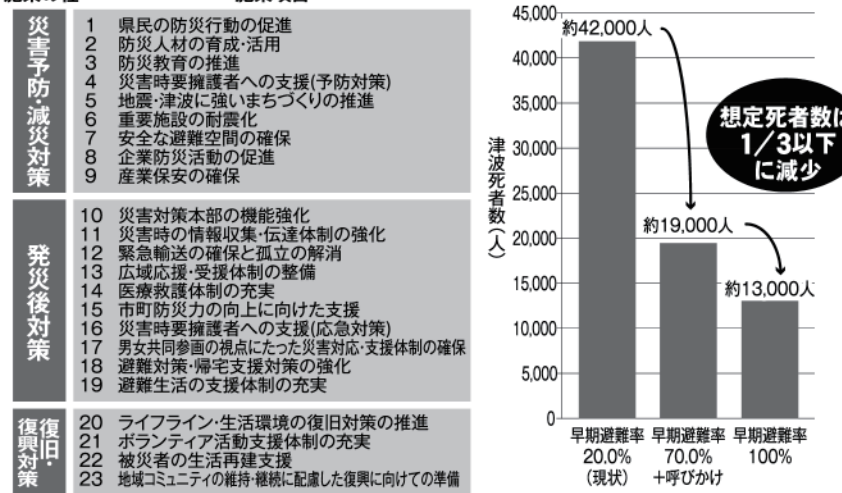
3 三重県新地震・津波対策行動計画の概要

東日本大震災では、国内観測史上最大のマグニチュード 9.0 の地震が観測され、想定をはるかに超えた巨大津波により、多くの尊い命が奪われました。この震災の経験を私たちは決して忘れてはいけません。本計画では、津波避難や防災教育など「緊急地震対策行動計画」からの継続的な取組のほか、緊急輸送道路や海岸堤防施設の整備など「みえ県民ビジョン」における「命を守る緊急減災プロジェクト」を進めている取組も含めた、総合的な地震・津波対策計画です。具体的には、災害対応の時間軸が伸びることを想定に入れ、発災前から発災後までの対応を、それぞれのフェーズに沿ったきめ細かな対策として取り組むことができるよう、「施策の柱」として、「災害予防・減災対策」、「発災後対策」、「復旧・復興対策」の3つの柱を据えています。その3本柱から必要となる施策を、23の「施策項目」として分類しました。また「施策項目」に沿った具体的な行動の取組内容を192の「行動項目(第5章)」として掲げています。詳細は <http://www.pref.mie.lg.jp/D1BOUSA/shinjishin.htm>

【減災効果の一例】

三重県では、東日本大震災の発生を受け、早急に津波避難体制を確立していく必要があるとの認識のもと、平成23年度に、東日本大震災と同規模の地震を想定した、三重県独自の津波浸水予測調査を実施しました。地震被害想定調査では、理論上最大クラスの南海トラフ地震が発生した場合、津波による死者は県全体で約 42,000人に上ると予測しています。早期避難率が、70.0%にまで向上し、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合(国の被害想定と同じ設定)、津波による死者は約42,000人から約19,000人に減少します。さらに、すべての人が地震発生直後から避難行動をとるような状態が実現できた場合、つまり早期避難率が100%となった場合には、津波による死者は県全体で約 13,000人(3分の1以下)に減少します。

■早期避難率の向上による減災効果



施策の柱	施策項目
災害予防・減災対策	1 県民の防災行動の促進
	2 防災人材の育成・活用
	3 防災教育の推進
	4 災害時要援護者への支援(予防対策)
	5 地震・津波に強いまちづくりの推進
	6 重要施設の耐震化
	7 安全な避難空間の確保
	8 企業防災活動の促進
	9 産業保安の確保
発災後対策	10 災害対策本部の機能強化
	11 災害時の情報収集・伝達体制の強化
	12 緊急輸送の確保と孤立の解消
	13 広域応援・受援体制の整備
	14 医療救護体制の充実
	15 市町防災力の向上に向けた支援
	16 災害時要援護者への支援(応急対策)
	17 男女共同参画の視点にたった災害対応・支援体制の確保
	18 避難対策・帰宅支援対策の強化
19 避難生活の支援体制の充実	
復旧・復興対策	20 ライフライン・生活環境の復旧対策の推進
	21 ボランティア活動支援体制の充実
	22 被災者の生活再建支援
	23 地域コミュニティの維持・継続に配慮した復興に向けての準備

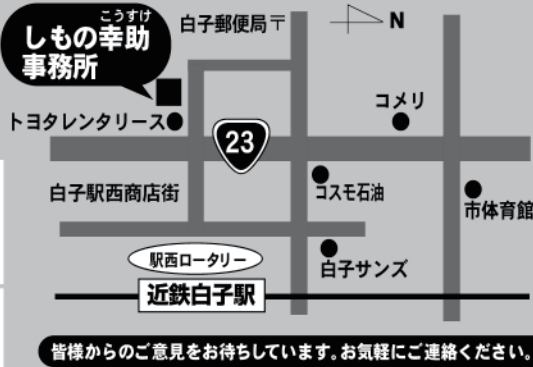
三重県議会議員

しもの幸助事務所

〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1
TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

しもの幸助コッコツ活動日記
<https://www.facebook.com/shimono19761107>

しもの幸助公式ホームページ
<http://www.k-shimono.com>



■しもの幸助プロフィール

- 1976年11月 鈴鹿市に生まれる 現在37歳
- 1983年 3月 私立第二さくら幼稚園 卒園
- 1989年 3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業
- 1992年 3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業
- 1997年 3月 国立鈴鹿工業高等専門学校電気工学科 卒業
- 1999年 3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業
- 1999年 4月 国立サウスバンク大学 英国留学(聴講生留学)
- 2001年10月 内閣官房(国家公務員/内閣事務官)
- 2008年 3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了(MBA取得/経営学)
- 2008年 3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社
- 2010年11月 同社退社
- 2011年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区)初当選